

ぽれぽれ 通信

どう対応する!!
差し迫った新たな脅威

3・4月号
vol.39

1月から始まった通常国会の初日、安倍総理が施政方針演説において、「防衛計画の大綱」を見直すことを表明した。そもそも「防衛計画の大綱って何？」と疑問に思われた読者の方も多いだろう。防衛計画の大綱（以下、防衛大綱）とは、おおむね10年程度の期間を目安に、日本の防衛の基

本方針・防衛力の意義や役割、自衛隊の具体的な体制・主要装備の整備目標の水準といった今後の防衛力の基本的方針を示すものだ。現在の防衛大綱は、今から5年前の平成25年に定められた。しかし、北朝鮮の核開発や弾道ミサイル発射などにより、日本を取り巻く安全保障環境は厳しさを



▲SM-3ブロックⅡAの発射試験

新防衛計画の大綱 策定に着手

増し、それらは差し迫った新たな脅威となった。このような状況を踏まえ、現大綱が定められてから5年しか経っていないが、防衛大綱を見直すことになった。

防衛力向上へ 新装備品の導入

北朝鮮は平成28年以降、3回の核実験のほか、40発もの弾道ミサイルの発射を強行しており、その脅威は増大の一途だ。このような北朝鮮の脅威に対し、防衛省・自衛隊は、弾道ミサイル防衛（BMD：Ballistic Missile Defense）を構築し、万全の態勢をとっている。まず、海上自衛隊のBMD対応型イージス艦による上層でのミサイル迎撃に加え、航空自衛隊のPAC-3に

よる下層でのミサイル迎撃という多層防衛の態勢をとっている。また、現在、BMD対応型イージス艦を4隻保有しているが、現有のイージス艦2隻をBMD対応に改修し、更に新たにBMD対応型イージス艦を2隻造船し、平成32年には合計8隻まで倍増させ、ミサイル防衛の任に当たらせる。またPAC-3 MSEやSM-3ブロックIIAといった現行のPAC-3よりもより高高度、より広範囲に及ぶ能力向上型迎撃ミサイルも導入し、迎撃能力の向上を進めている。

だが、北朝鮮のミサイルの脅威が増大する中、より抜本的なミサイル防衛の強化を考え、イージス・アショアの導入を決定した。これは陸上配備型のイージス・システムで

あり、2基で我が国全域をカバー出来る。また、陸上に設置するため、イージス艦のように定期的に帰港する必要がないことから、我が国を常時・持続的に防護する能力が抜本的に向上することとなる。一部では、イージス・アショアは、米軍が運用するのではないかと、との誤解があるようであるが、間違いであり、陸上自衛隊が運用する。これにより、陸・海・空、全ての自衛隊が、ミサイル防衛任務に就くことになった。まさしく、自衛隊の総力を挙げて国民の生命と財産を守るのである。

新型ミサイルは 敵基地攻撃能力か

もう一つ、特筆すべき新装備品としては、スタンド・オフ・ミサイルの導入が挙げられる。

スタンド・オフ（stand-off）とは「離れている」を意味するが、つまりは相手の脅威圏の外から対処できるミサイルを指している。これを導入する意図は、侵攻する敵部隊への対処やイージス艦に乗艦しミサイル防衛に従事する自衛隊員の安全を可能な限り確保することである。どういうことか？つまり、軍事技術の進展により、他国の持つ対空ミサイルの射程の伸長やステルス機の実戦配備が進んでおり、さらに、戦闘機と早期警戒管制機等との連携によって、探知範囲、射程といった脅威圏が拡大してきている状況がある。仮に自衛隊がこのような能力を持った相手と対峙する場合、このような相手方の脅威圏外から対応しなければ、容易に攻撃を受けて



▲PAC-3

しまう。このような事態を避けるため、我が方としては相手の脅威圏外から、相手の手の届かない場所からでも我が国の領土、領海、領空を守ることができミサイルを保有することが必要なのである。

本年1月から、航空自衛隊の最新のステルス戦闘機で

あるF・35Aの青森県三沢基地への配備が開始されたが、最初のスタンダード・オフ・ミサイルはこのF・35Aに搭載できる「JSM」になる予定である。一部には「スタンダード・オフ・ミサイルは敵基地攻撃のためではないか?」との指摘もあるが、それは全く違う。いわゆる「敵基地攻撃」については、日米の役割分担の中で、米国の打撃力に依存しており、これはスタンダード・オフ・ミサイルの導入によって何ら変わるものではない。政府としては、今後とも、日米の基本的な役割分担を変更することは考えていない。スタンダード・オフ・ミサイルの導入は、先述の通り、あくまでも隊員の安全を確保しつつ、有効な防衛能力を

確保できるようにするためである。

ところで、「海自のヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」を改修し、短距離で離陸する戦闘機F・35Bを搭載し空母化を政府が検討」との報道があったが、国会等で答弁しているとおり、これまでに具体的な検討を行ってきただという事実はない。なお、我が国の憲法上、例えば攻撃型空母のように、性能上専ら他国の国土の壊滅的破壊のためにのみ用いられる装備については、保有することは許されない。刻々と変化していく安全保障環境下にあって、山本も防衛副大臣として、我が国に真に必要な防衛力の構築のため新たな防衛大綱の策定に全力で取り組む。



ぺんぺん特別秘書官の603運動紹介!

今回お伺いしたサークルは「鎌倉・史の会」

第三回は、日本の教育を考える「鎌倉・史の会」を紹介するぞ。「鎌倉・史の会」は、歴史や日本伝統文化の認識を深めながら、様々な活動をしているんだ。有識者を招いて講演会を行ったり、最近では教育現場の課題を検証し、鎌倉市に提言も行ったぞ。



定例会は月1回(週末)午前中、大船行政センター、もしくは鎌倉生涯学習センターで開催。横浜市栄区、逗子市のメンバーも加わり、会員は常に40～50名所属。会費は0円! 参加費は100円。誇りある人を造る教育について、一緒に考えてみないか?



左から森さん、若林さん、木上さん

■ 木上和高 代表から一言

オープンな会として門戸を開いているので、若い人たちにもドンドン参加をして欲しい。歴史と文化を大切にしていく。継続は力となる!
連絡先:木上和高 (0467-43-2895)。



駅で「ぽれぽれ通信」を お配りしております 駅頭活動報告

「色々あって大変だね」「ご苦労様」
「おっ、副大臣がちゃんと自分で配ってるのか」
などなど沢山の方々から
エールを頂きました。
まじめにしっかりやります。

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞆と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぽれぽれ通信」配布数

1月・2月集計分

駅名	1月	枚数	2月	枚数	前月比
逗子駅	9日(火)	361	1日(木)	134	↓
新逗子駅	10日(水)	184	7日(水)	244	↑
鎌倉駅(東口)	15日(月)	231	5日(月)	410	↑
鎌倉駅(西口)	11日(木)	180	6日(火)	163	→
大船駅(西口)	12日(金)	165	8日(木)	453	↑
大船駅(モノレール口)	16日(火)	237	9日(金)	479	↑
大船駅(東口)	17日(水)	213	13日(火)	420	↑
大船駅(笠間口)	18日(木)	253	14日(水)	509	↑
本郷台駅	19日(金)	445	15日(木)	516	↑
港南台駅	22日(月)	214	16日(金)	116	↓
	1月配布合計	2,483	2月配布合計	3,494	↑

アドレスは「ぽれぽれ」

twitter、Facebookも本人がやっています
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



twitter
@ty_polepole



facebook
facebook.com/ty.polepole

福祉ワーカーにおけるストレスの値 (%)

	看護師	保育士	介護従事者	その他
人命に関わる緊張感	56.3	40.8	40.8	8.5
肉体的、体力的な負担	43.7	43.7	65.0	16.9
女性が多い職場での人間関係	48.5	43.7	38.8	21.9

※メディプラス研究所調べ

福祉ワーカーにおけるストレス問題について

今回は看護師、保育士、介護従事者という「福祉ワーカー」に調査対象を絞り、ストレス要因に焦点を当てて考察してみたい。

国民の安心と生活の安定において、保育、医療、介護はまさに根幹。この分野に関わる職業のうち、特に看護師、保育士、介護従事者ら女性福祉ワーカーについて調査したところ、他の職業と比べて高ストレス者の割合が多いことが分かった。

共通している項目は「人命にかかわる緊張感」「肉体的、体力的な負担が大きい」、さらに「女性が多い職場の人間関係の難しさ」など。これらの回答率は、他ジャンルの女性有職者と比べ、なんと2～7倍と大きな差がある。

現在、厚労省ではこれらの職種に対して処遇改善施策を進めているが、ストレスの観点から見るとそれだけが解決策とはいえない。精神的・身体的ストレスの低減、解消のための環境整備施策も同時に進めなくては、人材の定着や、ひいては日本の労働生産性の好転にはつながらないと考えている。

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成29年 衆院選 4期目の当選

自由民主党 衆議院議員(4期 9年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)

昭和50年(1975年)生まれ
42歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

国会・防衛省見学ツアー実施中!!

国会や防衛省を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変え無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

平成30年(2018年) 3月1日発行 第39号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。